

検討委員会・作業部会で検討する項目確認リスト

検討項目	内容	2012（平成24年度）													備考			
		済	未	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		3		
1 計画の目的・方針・概要	資源化基本計画内容の把握																	
	ごみ処理・資源化フローの把握																	
	分別して収集するごみの種類																	
2 建設候補地	候補地視察																	
	立地条件の整理																	
	全体配置の計画																	
	候補地の設定																	
3 施設規模	ごみの発生量・処理量の見込み					—												・23年度の処理実績データによる規模の見直し ・資源化計画の目標値の見直し ・確実な処理・資源化できる規模 ・地域計画との整合性
	資源化する物・量の設定					—												
	施設（4.①～⑤）規模・処理量の設定					—												
4 処理方式	①熱回収施設（焼却施設）																	
	処理方式の検討	○																ストーカ炉に決定
	焼却炉の種類、数の設定		○	—														
	排ガスの自主基準値の設定			—														
	排ガス処理方式の検討（自主基準値をクリアする）			—														経済性、維持管理容易性、発電効率等から検討
	白煙防止装置の有無			—														
	灰溶融施設の検討	○																灰溶融は設置しない
	②バイオガス化施設																	
	処理方式の検討	○																乾式方式
	処理量の設定・発酵槽の数の設定				—													
	メタンガスの有効利用方法		○	—	—													
	排水処理方式の検討				—	—												
	③プラスチック資源化施設																	
	処理方式の検討					—	—											
	環境負荷削減の検討・熱回収施設への影響					—	—											
	④マテリアルリサイクル施設																	
	処理方式の検討					—	—											
⑤不燃・粗大ごみ処理施設																		
処理方式の検討			—															
5 環境保全計画	排ガス測定結果等データの開示方法						—	—										
	施設稼動にともない測定する物質																	
	周辺環境への影響検討																	環境影響評価で実施
6 熱等エネルギー利用	発電の利用方法（場内・場外）						—	—										
	熱エネルギーの利用（場内・場外）						—	—										
	メタンガスの供給・利用方法						—	—										
7 コミュニティ・市民参加	環境学習施設、防災拠点等の付帯施設の検討							—	—									
	新たに資源化できる物の抽出と推進策の検討							—	—									
8 事業スケジュール	施設別整備時期の検討								—	—								
	市民へのお知らせ方法を検討、実施								—	—								
9 事業方式	施設の管理・運営方法の検討								—	—								
循環型社会形成推進地域計画																		概算工事費・計画支援事業の内容確定 造成設計・地質調査・生活環境影響評価・ アドバイザー業務もしくは工事発注支援業務 施工監理